



図書館だより

平成20年9月

島根県立図書館報 第182号

※行事予定は、カウンターでお渡しします。

主な内容

- 巻頭言・読書週間 …………… 1
- 写真で見る県立図書館の40年 …… 2
- 松江市立島根図書館オープン …… 2
- 館内展示コーナー …………… 3
- レファレンス事例紹介 …………… 3
- お知らせ・利用案内 …………… 4

子どもと本との出会いを願って

隠岐の島町ボランティアグループ
「おはなしの部屋」 秋 庭 ゆみ子

本の楽しさを子ども達に伝えたいとの思いから関わることになった、読み聞かせのボランティアとして20年以上がたちました。小さな公民館図書室から始まったこの活動も町立図書館ができたことで大きく広がりを見せ、島中（隠岐・島後）のほとんどの小中学校での読み聞かせ、或いはブックトーク等に仲間たちとともにいらせてもらうようになりました。

出会った子ども達のきらきら輝く目、そしてひたむきに聞きいる表情に支えられ励まされ、私たちも元気をもらっています。

子どもの活字離れが言われて久しくなりますが、特に低学年の子ども達は本が好きで話が好きで、お話の世界に入り込んで主人公とともに冒険したり楽しんだりしたことがはっきりとわかる場面に遭遇します。

普段は落ち着かない子どもでも、本によっては長い時間でも楽しんでくれます。このような時、本の持つ力のすごさに驚かされます。そして私たちは嬉しいと同時に、選書の難しさを改めて感じています。

この子ども達が学年が上がるとなかなか本を読まなくなっていく、ブックトークで本を紹介するとその時は本を手にとってくれるの

に、という現状を見ていると、せっせと本を運んで行っても、いつも身近にいて十分なアドバイスが出来ないことが残念に思えるのです。そして学校図書館の整備が不十分で図書館司書がいらないことが、豊かな社会だからこそ子どもと本との出会いが重要なのに、それを奪ってしまうひとつの要因ではないかと考えてしまうのです。

本さえあれば、どこにでも住むことができると私は思っています。子ども達がたくましく生きるためにも、たくさんの本と出会って、本の楽しさ、素晴らしさを知って欲しいと願い、その橋渡しのために、活動を続けたいと思います。



小学校でのブックトークの様子

2008年『第62回 読書週間』開催!!

期間 平成20年10月27日(月)～11月9日(日) **標語** 『おもわぬ出会いがありました。』

読書週間行事テーマ

- 国民すべてに読書をすすめる運動
- 特に青少年に読書をすすめる運動
- 読書グループの結成促進運動
- 家庭文庫・地域文庫・職場文庫の充実運動

すべての世代の人たちが、本に親しみきっかけをつくり、読書への関心を高めるための運動です。この機会にお近くの図書館や書店等で、本を手にとってみてください！



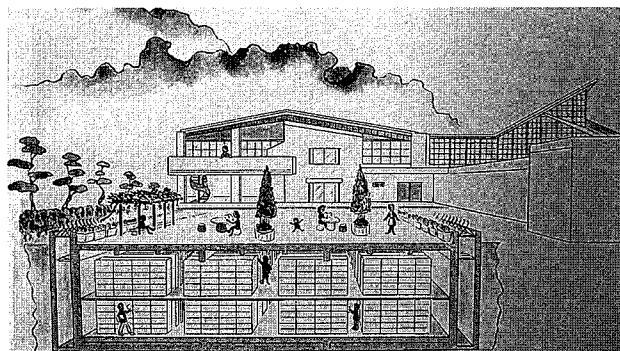
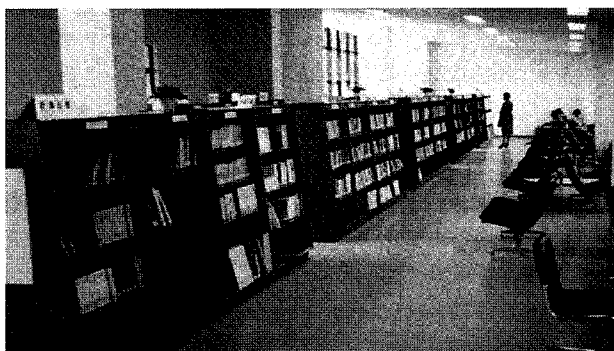
写真で見る県立図書館の40年 ーその2ー



第28回全国図書館大会 松江市で開催
昭和50年10月22日から24日、島根県で初めて開催された。

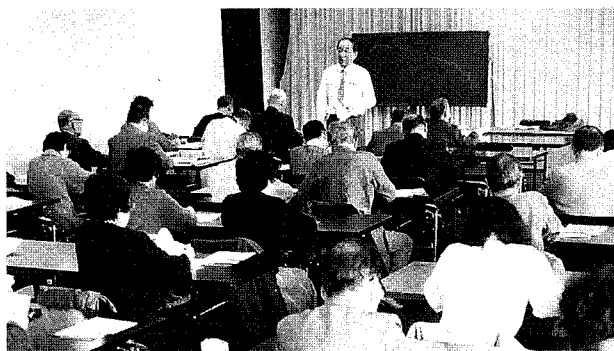
新館読書室と地下書庫増築完成

狭隘となった書庫を増築し、昭和58年4月5日オープン。2階部分には新館読書室を開設し、1階にコンピューター室を設けて、地下書庫は積層書架2層で面積1,357㎡、30万冊収納可能となった。



古文書を読む会

昭和44年から始まった当館の「古文書を読む会」を契機に、県内各地域で同様の講座や学習グループの活動が盛んになった。



親子読書活動

昭和54年度から親子読書活動（絵本の読み聞かせ）を実施し、県内全域に広がった。

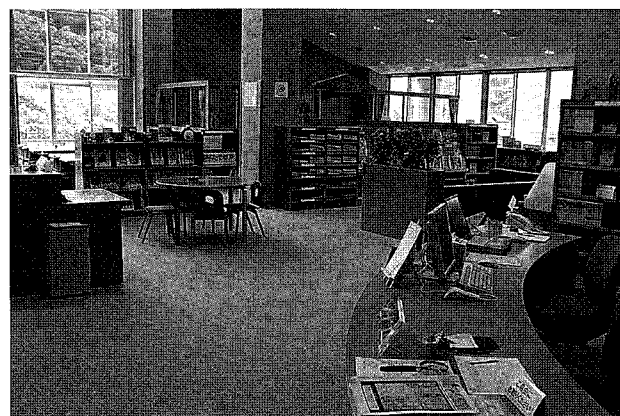


松江市立島根図書館オープン！

平成20年6月1日、松江市島根町に松江市立島根図書館がオープンしました。島根図書館は島根公民館との複合施設で、ワンフロアの館内にはブラウジングコーナーやキッズコーナーなどがあります。蔵書は一般図書約6,300冊、児童図書約4,700冊で、適宜新しい本を受け入れています。また、オンラインにより松江市立中央図書館で所蔵している本の検索・利用ができます。

松江市立島根図書館

松江市島根町加賀1414番地
TEL (0852) 85-9088



カウンターからブラウジングコーナーを眺める

館内資料 展示コーナー

お勧め
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。
5月から7月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂きたい本を紹介します。

※展示リストはホームページからもご覧になれます。

※URL: <http://www.pref.shimane.lg.jp/toshokan>

5月テーマ 出雲大社の本 ー平成の大遷宮にちなんでー

『出雲大社』改訂版

千家尊統/著 学生社 1998年刊

初版は昭和43年刊。出雲大社第82代国造により著された出雲大社を知る基本書。

内容は歴史、祭り・神事、社殿、宝物等、出雲大社の全貌を分かり易く著したもの。

『出雲大社（日本の美術No.476）』

浅川滋雄/著 至文堂 2006年刊

近年の新しい考古学的発見をふまえた書。平成12年、出雲大社八足門近くの発掘調査で宇豆柱や心御柱等の巨大な遺構が発見された。明らかになる遷宮の歴史等、古代からの歴史を写真と図版で分かり易く解説。

6月テーマ 自然環境はいま

『写真が語る地球激変』

フレッド・ピアス/著 ゆまに書房 2008年刊

環境、景観が激変した世界各地の、過去と現在を対比させた写真250枚を掲載。地球温暖化や、都市化、土地開発、戦争など、人間は地球環境に、深刻な影響を与えてきた。わずか数十年の間に起こった環境異変の衝撃的な現実を、それまでの時代背景もあわせ簡潔に解説している。

『ガラパゴスがこわれる』

藤原幸一/著 ポプラ社 2007年刊

進化を育んだ島、世界自然遺産第1号のガラパゴス諸島は、人間が引き起す環境破壊や温暖化などの影響で、海や森、そこにすむ生き物たちが危機に直面している。環境問題解決のためのメッセージをこめた写真集。

7月テーマ 平和への祈り ー永井隆博士生誕100年によせてー

『長崎の鐘』

永井隆/著 中央出版社 1983年刊

原著は1946年、永井博士最初の著書として出版された。長崎の被爆直後の様子と、被災者の治療にあたった博士をはじめとした長崎医科大学の医師と看護婦の行動が詳細に綴られている。原子爆弾の惨禍と、その中で生きていく人々の姿は胸にせまる。

『絵でよむ広島原爆』

那須正幹/文 西村繁男/絵 1995年刊

『ズッコケ三人組』シリーズで知られる那須正幹は、3歳の時、母の背で被爆。それから50年を経て、細密な画風で知られる西村繁男とともに、「広島原爆」のすべてを知るための本を作った。絵で再現された当時の広島の様子は多くのことを物語る。

レファレンス事例紹介

こんな問い合わせがありました

Q 日米和親条約の原本の写真が見たい。

A 日本側の原本は、幕末、江戸城の火災で焼失し、現存しません。

アメリカ側の原本は米国国立公文書館に保存されており、批准書の複製が2004年に日米交流150年を記念して日本に贈られ、外務省の外交史料館に所蔵されています。

2008年8月現在、アジア歴史資料センターのホームページでインターネット特別展「条約と御署名原本で見る近代日本史」が公開されており、米国国立公文書館から外交史料館に提供された条約書の画像を見ることができます。

参考文献：「外交史料館報18号」 外交史料館発行 2004年
国立公文書館アジア歴史資料センター <http://www.jacar.go.jp>

Q 赤ちゃんの一歳のお祝いに餅を背負わせる風習について書かれた資料がないか。

A 一歳の誕生祝いについては、百科事典などで「初誕生」の項目に説明があります。一升餅を父親の帯またはふろしきに包んで背負わせわざと転ばせる、餅を踏ませるなどの風習が紹介されています。

「もち（糯・餅）」という本には、島根県の例として、大きな祝餅をひと重ねつくり父親の帯で背負わせることや、東日本に多い風習として、早く歩き出す幼児に一升餅を背負わせて座らせたり、餅を投げつけて歩かせないようにする例が紹介されています。

同じ島根県でも地域によって違いがあり、下記に挙げた調査報告書などに事例が紹介されています。

参考文献：「もち（糯・餅）」渡部忠世／ほか著、法政大学出版会 1988年 『島根県下に於ける初誕生儀礼』近藤直也（「山陰民俗研究6」山陰民俗学会 2001年）「出雲中海沿岸地区の民俗」島根県教育委員会 1971年 「隠岐島の民俗」島根県教育委員会 1973年

大人版 島根県立図書館探検ツアー

とき 10月28日(水)
11月1日(土) しまね教育の日
両日とも11時から約45分間です。

ところ 島根県立図書館集会室前に集合。
図書館の裏側までご案内します。

そのほか 申し込みは不要ですが、団体の方は事前にご相談ください。
参加費無料。両日とも同内容です。



お問い合わせ 島根県立図書館中央カウンター
電話 0852-22-5748

「読書体験記」募集!!

×切
11月10日

島根県読書推進運動協議会では、読書週間にちなみ「読書体験記」を募集します。読書について日頃感じていることや家庭での読み聞かせの様子など、なんでも気軽に綴って応募してください!

枚数 1200字以内(400字詰め原稿用紙3枚以内)
応募資格 小・中・高校生以外は、島根県在住の方に限ります。
応募方法 応募票(県立図書館で用意しています)を記入貼付し、下記まで郵送または持参してください。

お問い合わせ 島根県読書推進運動協議会
〒690-0873 松江市市内中原町52 島根県立図書館内
電話 0852-22-5729

特別講座「成年後見制度を考える」を開催します

一人暮らしの方で「万一入院したら入院費の支払など、誰に頼めばいいのか」、「私が死んだ後、障がいを持つ子はどうなるのだろうか」等判断能力が不十分な状態の高齢者やハンディを負った方を支援し、権利を守るしくみが「成年後見制度」です。

- 1.日時・会場 平成20年9月20日(土) 10:30~12:00・県立図書館集会室
- 2.講師 松江成年後見センター副代表 司法書士 根来川弘充さん他
- 3.内容 成年後見制度の概要と島根県における成年後見の実情他
- 4.その他 入場は無料です。また当日個別に無料相談を受けて頂けます。

お問い合わせ
総務振興グループ
TEL 0852-22-5725



開館日カレンダー

10月 展示: だんだん〜ありがと〜朝ドラ「だんだん」にちなんで

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月 展示: クマ・人・自然

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月 展示: づじんに関する資料展-日本づじん交流年によせて

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■黒字…9:00~18:00 ■青字…9:00~17:00 ■赤字…休館日

*9月22日(月)から10月1日(休)まで図書整理・点検のため休館いたします。

読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。
お問い合わせ 館外奉仕室(0852-22-5729) または 西部読書普及センター(0855-23-6785)まで。

お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。
①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索(県立図書館HP)や、電話での問合せ(0852-22-5748)またはお近くの市町村図書館までおたずねください。
②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館(図書館未設置の5町村は中央公民館等)へお申込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

利用案内

- 開館日時間
火曜日~金曜日 4月~9月 9時~19時
10月~3月 9時~18時
土曜日・日曜日 通 年 9時~17時
- 休館日
毎週月曜日・国民の祝日・毎月末日(月末が日曜日にあたるときはその前日)
年末年始 12月28日~1月4日・特別整理休館

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/toshokan/>
編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市市内中原町52
TEL 0852-22-5725 FAX 0852-22-5728

発行日 平成20年9月10日